

1 期日について

年末の...とも思っていました、逆に出張や授業の心配はないので結果的にはよかったと思います。

2学期中は、とてもあわただしかったので、冬休みでよかったと思います。（12名）

夏休みの方が時間的な余裕があってよいのではないかと思います。

今年はよかったが、できれば寒くないときの方がよいのでは（雪が心配です）

本当は、25日がよかったのですが、仕方ないですね。

このような機会を広く紹介していただきありがとうございました。期日について、特に意見はありません。

2 研修の内容について

発表について

一つの短歌を、1時間かけて読み深めていくことの手順を細かく教えていただけてよかったです。

久しぶりに国語の授業を受けた気分になり、生徒の気持ちを少し理解できたように思います。国語の授業はしませんが、大変勉強になりました。ありがとうございました。

教師側の教材の捉え方一つで、授業の深まりが変わってくるということが参考になりました。

徐々に短歌を考えさせてもらいました。分かりやすくとても楽しかったです。ありがとうございました。

大変考えさせられました。

松井校長先生の授業も末藤先生の授業記録もすばらしく感動しました。1年の終わりに、このような心打たれる実践を見せていただくことができ感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

楽しく考えさせられました。

短歌一つで、1時間授業できるやり方を学ばせてもらいました。

「短歌のおもしろさ」を味わえる模擬授業でした。教材分析の大切さ、おもしろさも実感できました。実践的な内容で参考になりました。教材分析がんばりたいと思います。

若山牧水の授業では、教材研究のポイントがよく分かった。ぜひ、1時間の授業として子どもたちと取り組んでみたい。

とても楽しい模擬授業でした。

教材研究の大切さを改めて確認できました。自分自身の教科（音楽）でも、教材研究に時間を費やしていく必要があると感じました。

国語にも正解を出すということばが印象に残った。教材研究の大切さを改めて感じた。

牧水の短歌を通しての模擬授業、ありがとうございました。教材研究の大切さを改めて感じました。

楽しく授業に参加できました。牧水は、なぜかなしいと思ったか？は、答えを検討することは難しいと思いました。描かれていることは、松井先生のおっしゃるとおり、多くの場合答えを確定できますが、作者論はまたちがうと思います。作者論に関することは、問わない方がよいのではないのでしょうか。また、ご指導ください。

講話について

「ヒロシマのうた」に対する末藤先生の深い思い、子どもたちを大切にしながら丁寧に授業を組み立て、進めておられる様子がよく分かりました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

末藤先生のすばらしい授業の記録を見せていただきました。これをまねすることはとても難しいことだと思いますが、先生のような丁寧さをもっと身につけなければと思いました。ありがとうございました。

「考える」「書く」ということは他教科でも必要です。常時、自分の考えを書く、繰り返す、人の意見

を聞く 3学期から自分の授業でも考えてみたいと思います。

準備が大変だったと思います。ありがとうございました。これからの実践にぜひ生かしていきたいです。

教材研究、授業準備の綿密な計画、大切さを改めて考えさせられました。現状に満足せず、常に生徒（児童）の実態を把握し、研究、自己研鑽しなければならぬと思いました。

19人で聞かせていただくにはもったいないと思いながら聞かせていただきました。いつもはできないとしても、国語の物語教材で、教材分析、学習問題作りなどを一度やってみたいと思いました。「問題作りで大切なこと」大変参考になりました。

実践の積み重ね、記録を残すことの大切さを学びました。

まず、末藤先生に初めてお会いすることができてよかったです。問題解決的な学習（文学作品）の具体的な指導法が聞けてよかったです。

細かな作業の上の授業で、とても勉強になりました。子どものすばらしい答えが先生の授業ゆえのものだと感じました。ビデオもぜひ見たいです。

子どもたちの考えや気持ちがいねいにつづられていて、すばらしい記録だと思った。学習問題が、小・中・大ともに読み深めるのに、十分なものができていて、子どもたちの力を感じた。

子どもたちが、すごくいい意見をいっぱい出していて、すごかったです。

問題解決的な学習の進め方について学ぶことができた。時数の確保及び限られた時数での進め方も研究する必要がある。

自分が指導していた「ヒロシマのうた」が、いかに浅いものだったかと、その当時の子どもたちにはずかしくなった。問題作りの方法が大変参考になった。

大変すばらしい講話でした。私も、今後、末藤先生のような授業ができるようにがんばっていきたいと思いました。

末藤先生ありがとうございました。先生の「ヒロシマのうた」の実践は、直接授業を拝見することがありました。今こうやってお話を聞くにつけ、あのとき見えていなかったものの大きさを感じました。たくさんの資料ありがとうございました。

主題というのは、「作者が言いたいこと」ととらえるべきでしょうか、それとも「物語が自分に訴えていること」ととらえるべきでしょうか。こんなことも考えさせられました。

3 その他

教師の姿（力量）が、どれほど大切であるかがよく分かりました。

お忙しい中、このようなすばらしい研修会を企画して下さい、ありがとうございました。上岩戸小学校の先生方もおつかれさまでした。ありがとうございました。

自分も実践してみようという気持ちがおこってきました。また、力量を高めねばと強く思いました。どうもありがとうございました。

計画、準備おつかれさまでした。やはり、時間はきちんとした方がよかったですね。

このような研修は、即実践につながり、大変よい機会となった。ありがとうございました。

今回のような勉強の機会をいただき、本当にありがとうございました。

次年度、自主公開の可能性はありませんか。担任の先生の授業、松井先生、末藤先生の飛び込み授業、午後は、教育技術の伝承教室を現場でどう実現するかというテーマでパネルディスカッションするなど...おもしろいと思います。第2の島小ができるのでは...

すばらしい「研修会」でした。こういう会が増えていくことを願っていますし、自分にできることをやっていきたいと思います。貴重な場をつくっていただきありがとうございました。

一つ質問です。教材をよく分かっていないのにすみません。ヒロ子は「私に見守られながらどんな人に成長したか」これはなぜ必要なのでしょう。もう一つ、友達の発表の間は板書を写す、はいつもされているのですか？

